

科目ナンバー： BB1011

授業コード： 2220100100

講義科目名称： 人間社会と倫理

英文科目名称： Human Society and Ethics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員			
◎郷堀ヨゼフ			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 15時間 【担当教員】 【氏名】 ◎郷堀 ヨゼフ 【所属】 淑徳大学 【研究室】 【本学の科目区分】 専門基礎科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○
------	---

到達目標	1. 医療・福祉分野にとどまらず、今日の社会が直面している倫理的問題の内容およびその背景について理解できるようにします。 2. 倫理の原則を踏まえて諸問題に対する適切な判断を行う力を身につけます。 3. 現代社会および現代医療が抱える倫理的課題を意識できるようになります。 4. 倫理問題に関する考察ができるようになります。
------	---

授業概要	本講義では、生命や健康問題とは何かという根本的な問いから出発し、自由や公平といった基本概念を確認した上で、人権や自己決定権、QOL（生活の質）などに関する議論を展開していきます。人類社会が抱える諸問題を具体的な事例として取り上げ、その文化的・社会的背景についても検討します。 看護専門職として、個人の尊重、権利、そして生命を守るという前提に立ち、生命倫理学および臨床倫理の基礎的な概念や原則にも触れながら、倫理的問題やジレンマについて、国内外の事例を通して考察し、議論を深めていきます。さらに、出生前診断や不妊治療といった具体的なテーマを取り上げ、ディベート、グループワーク、ペアワークを通して諸問題について共に考え、共に学ぶ場を重視します。
------	--

授業計画	1・2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：基礎概念・道徳理論 学習内容：基本概念の整理、人類社会の倫理・道徳・倫理的課題・多様な視点 事前学習：授業で使う基本用語（価値、規範、権利、責任など）の意味を簡単に整理しておく。 事後学習：授業で扱った用語や考え方を振り返り、「自分はどうか考えるか」を短くまとめる。 備考： 3・4 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生命倫理学 学習内容：生命倫理と専門職倫理（臨床倫理、看護倫理）、倫理原則・規定、ケアリング 事前学習：医療・福祉の専門職が守る「倫理綱領（行動のルール）」とは何かを調べておく。 事後学習：授業で扱った事例について、自分の判断の理由を整理する。 備考： 5・6 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生のはじまり 学習内容：妊娠・出産にまつわる倫理的課題を取り上げ、優生思想・人口妊娠中絶・生殖医療・遺伝子治療を考える 事前学習：妊娠中絶と出生前診断について、基本的な用語を調べ、論点が何かをつかんでおく。 事後学習：授業で扱った事例をもとに、それぞれの立場で何を大切にするかについて再考する。 備考： 7・8 授業内容 授業形態：遠隔 学習課題：生のおわり 学習内容：安楽死や尊厳死にフォーカスしながら、脳死判定、患者権利（拒否権含む）、臓器移植、治療中止等の具体的な課題を取り上げる 事前学習：安楽死に関する基本的な考え方（尊厳死、緩和ケアとの違いなど）を調べておく。 事後学習：授業で取り上げた事例を振り返って自分の考えについて整理する。
------	---

	備考：
評価方法、評価基準	課題レポート（50％）、授業参画（授業内課題へ取り組み・発表等）（20％）、リアクションペーパー（30％）をもって到達目標を評価します。
必携図書	講義内で資料を配布するため指定しません。
参考図書・資料等	『看護学生のための医療倫理』（盛永審一郎、長島隆編 丸善出版 2012年） 『生命倫理学とは何か 一入門から最先端へ』（アラステア・V・キャンベル勁草書房、2016年）
受講、課題、資料配布等のルール	・学習者の主体的な学びを実現するためディスカッションやディベートを通して理解を深めたいと考えますが、オンラインツールをも活用してアクティブラーニングを促します。 ・授業毎はレジュメや必要な資料を配布し提示します。
教員からのメッセージ	倫理については、戦時中の人体実験など、過去の事例から学ぶことが多くあります。しかし、それらを単に暗記したり、知識として身につけたりすることが本科目の目的ではありません。メタ思考を活かしながら、「何が正しいのか」「何が問題なのか」「どうすべきなのか」といった問いに対して、学習者自身が答えを導き出すことを重視します。そして、その答えを他の学習者と共有し、議論を重ねることで、理解をより深めていきたいと考えています。さまざまな問題を掘り下げ、考察していく過程において、問題解決への道筋だけでなく、学習者一人ひとりが自らの考えや価値観を見つめ直し、確認していくプロセスを大切にしていきます。ぜひ積極的に参画していただければと思います。
オフィスアワー	—